

ツールプロジェクト

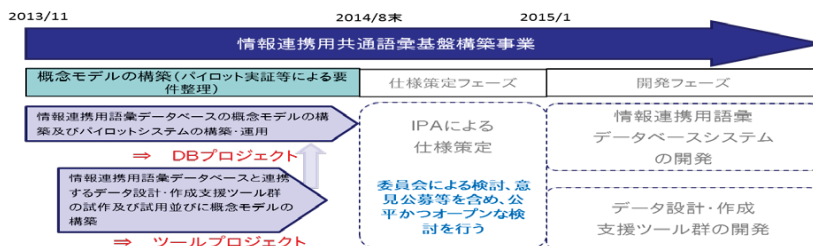
(情報連携用語彙データベースと連携するデータ設計・作成支援ツール群の試作及び試用並びに概念モデルの構築)

進捗報告

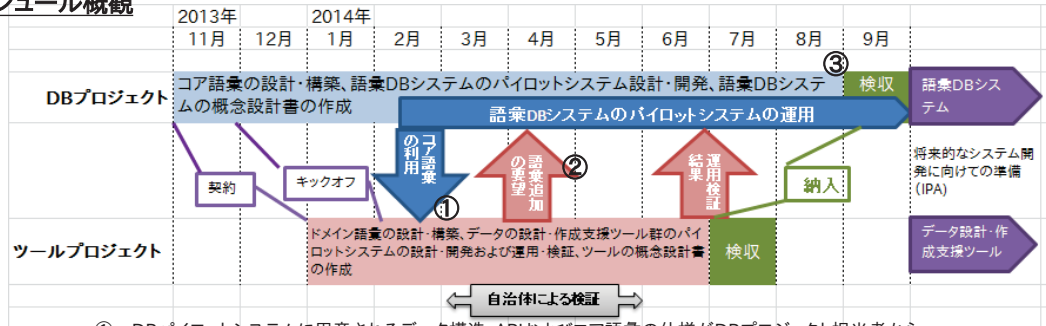
情報連携用語彙データベース事業の全体計画とスケジュール概観



全体計画



スケジュール概観



- DBパイロットシステムに用意されるデータ構造、APIおよびコア語彙の仕様がDBプロジェクト担当者から、ツールプロジェクト担当者に渡される。
- 検証用の語彙データは極めて基本的な「コア語彙」以外については、ツールプロジェクト側が用意し、原則DBパイロットシステムへ登録し、運用。
- 評価はツールプロジェクト実施者が独自に行い、概念モデル中にまとめるとともに、それらをDBプロジェクト実施者がDB運用の視点から取りまとめる。

■ DBプロジェクト

語彙データベースのパイロットシステムを構築・運用し、データベースやツールに関する知見や課題を整理

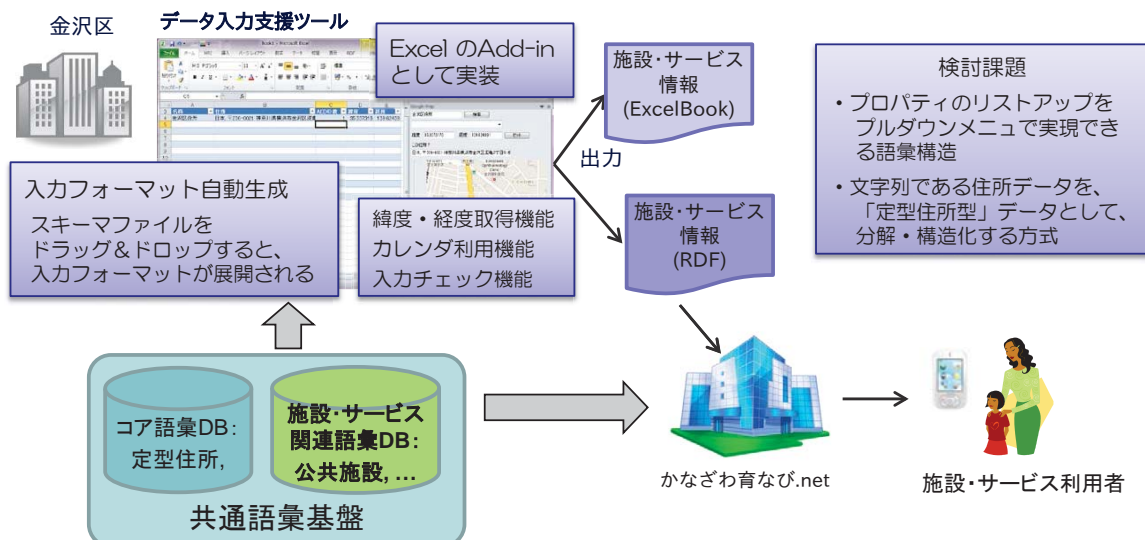
■ ツールプロジェクト

パイロットシステムを活用し、そこから提供される語彙データを活用して、再利用性の高いデータの作成に関わるツールを試作し、自治体の現場で運用する。この試作・運用を通して、語彙データ、データ構造やツールの機能について得られた知見や課題を整理

共通語彙基盤の概念モデルの構築実施者			
プロジェクト	実施者	プロジェクトの特徴	試用公的団体
DBプロジェクト	株式会社日立製作所		
ツールプロジェクト	1. 株式会社三菱総合研究所	「施設・サービス」のデータ化	金沢区
	2. インディゴ株式会社	「道路」のデータ化、他の地理情報との連携	浦安市都市整備部市街地開発課液状化対策推進室 松江市 島根大学 松江商工会議所
	3. 株式会社ネットワーク応用通信研究所	「観光」のデータ化	神戸市こども家庭局こども企画育成部 千葉市総務局情報経営部業務改革推進課 川口市企画財政部情報政策課
	4. 株式会社アスコエパートナーズ	「制度」のデータ化	千葉市総務局情報経営部業務改革推進課
	5. インフォコム株式会社	「イベント」のデータ化	千葉市総務局情報経営部業務改革推進課

1. 「施設・サービス」のデータ化 金沢区（株式会社三菱総合研究所）

- 保育所や医療機関等、住民の日常生活に密接に関わる施設・サービスの情報をデータ化するための基本語彙、ツールを試作し、横浜市金沢区による試用を実施
- 公共施設、公共イベントの語彙を開発、施設カテゴリ、参加者、日の種類の表現を検討
- 金沢区の子育て情報ポータル「かなざわ育なび.net」の子育て関連施設（保育所、幼稚園、公園等）に関する情報を、入力支援ツールを用いて入力し、評価をフィードバックしている
- 試用を通じて得られたノウハウを元に各種「施設・サービス」を記述するための基本データ型を提案し、データ入力支援ツールやDBの要件について考察する



2. 「道路」のデータ化、他の地理情報との連携

浦安市都市整備部市街地開発課液状化対策推進室（インディゴ株式会社）

- 「道路型のデータ」と「住所型等のデータ型のデータ」との地理的関係性を明確にし、道路占用許可等の業務の効率化を図ることにより、民間による道路活用事業を促進
- 東京大学 関本准教授、国土地理院、国土交通省国土技術政策総合研究所のヒアリング実施
- 「地方自治体における認定路線網情報の保有及び公開に関するアンケート」を実施
- 浦安市で、共通語彙準拠の入力支援ツール適用時と非適用時の効果を評価

道路型語彙と地理情報DBの連携ユースケースの検討

ナビゲーションシステム

工事情報を迅速に反映
Tweet情報から道路を推定

道路沿いの近接地域に関する情報の利用
ランドマークによる道路の識別
道路沿いの避難所、病院、観光スポットの検索

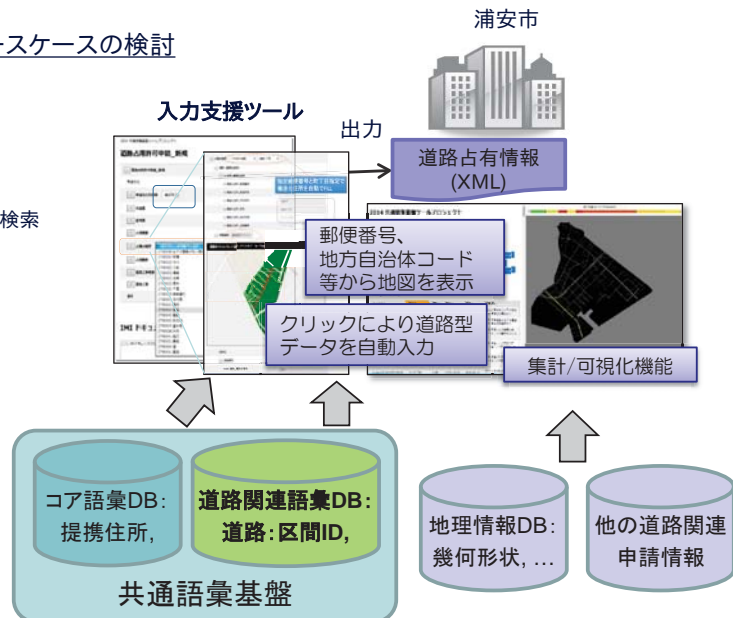
道路関連の行政相談支援
道路管理者の検索

ヒアリング結果

国総研, DRM策定の「区間ID」の語彙基盤への活用の有用性を確認
道路の管理元情報の重要性を確認

アンケート結果(33県、25市区)

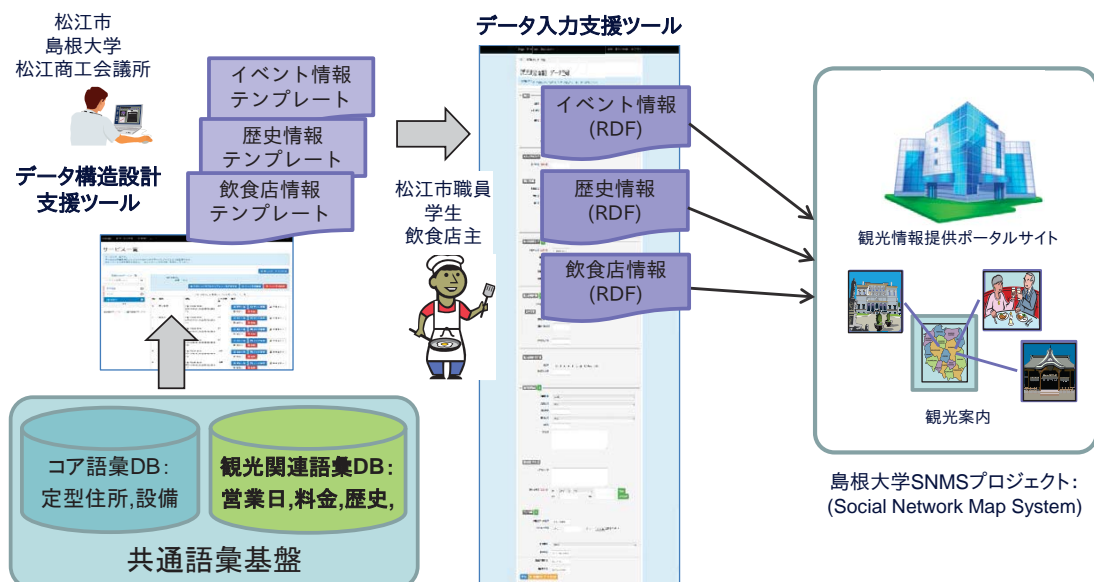
道路の地理情報の準備が進んでいることを確認(特に市区)



3. 「観光」のデータ化

松江市、島根大学、松江商工会議所（株式会社ネットワーク応用通信研究所）

- 情報源となる商店や中小企業等のITに関する非熟練者でも、容易に語彙の統制がとられたオープンデータを作成することを可能とする、基本語彙データ、ツールを試作して松江市、島根大学、松江商工会議所による試用を実施
- 語彙として、営業日付型、歴史情報型、観光施設料金型等を作成
- 松江市のSNMPプロジェクトとタイアップし、松江市商工会議所、島根大学で試用
- 観光情報のデータ型の基本型やパターン化を提案し、ツール、DBの要件について考察する



4. 「制度」のデータ化

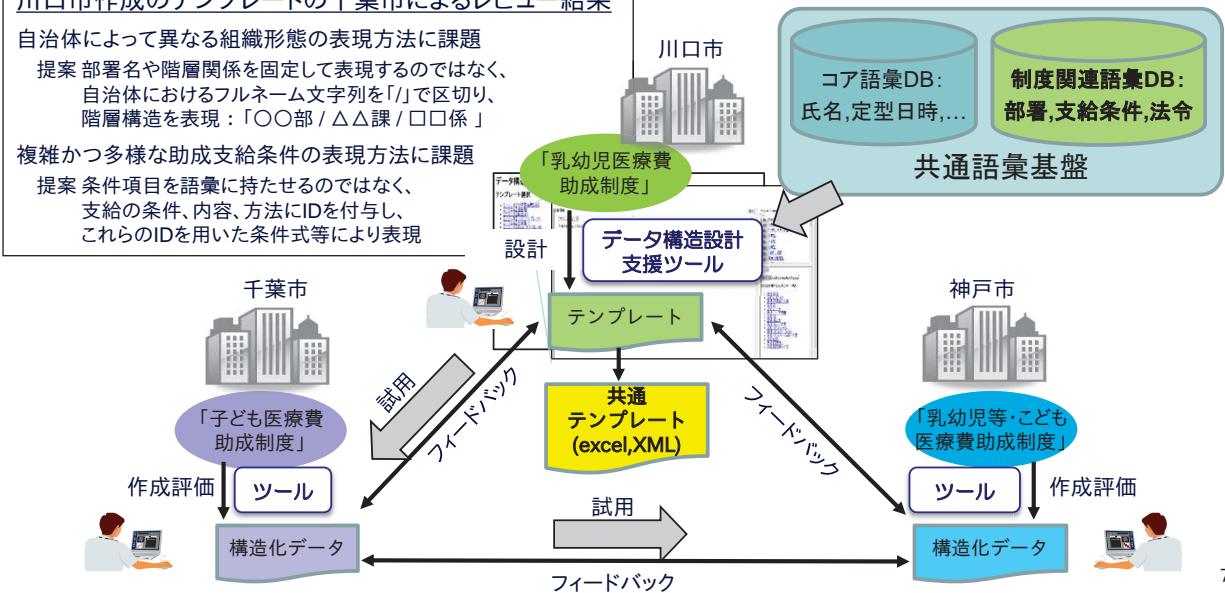
神戸市子ども家庭局子ども企画育成部、千葉市総務局情報経営部業務改革推進課、川口市企画財政部情報政策課（株式会社アスコエパートナーズ）

- 子ども医療費助成制度等の制度を説明する情報を、統一化された形式・用語でデータ化
- 複数の自治体（川口市、千葉市、神戸市）が持つ類似の制度をそれぞれ写し取ることで共通テンプレートの試作を通じ、共通語彙基盤とツールの要件、課題を明らかにする
- 語彙基盤として、部署の階層のような自治体ごとに異なる情報、支給対象者の条件のような複雑な条件の表現方法等の課題を検討
- 制度をデータ化するために用いる共通語彙やパターンを提案し、ツールやDBの要件を考察

川口市作成のテンプレートの千葉市によるレビュー結果

自治体によって異なる組織形態の表現方法に課題
提案 部署名や階層関係を固定して表現するのではなく、自治体におけるフルネーム文字列を「/」で区切り、階層構造を表現：「〇〇部/△△課/□□係」

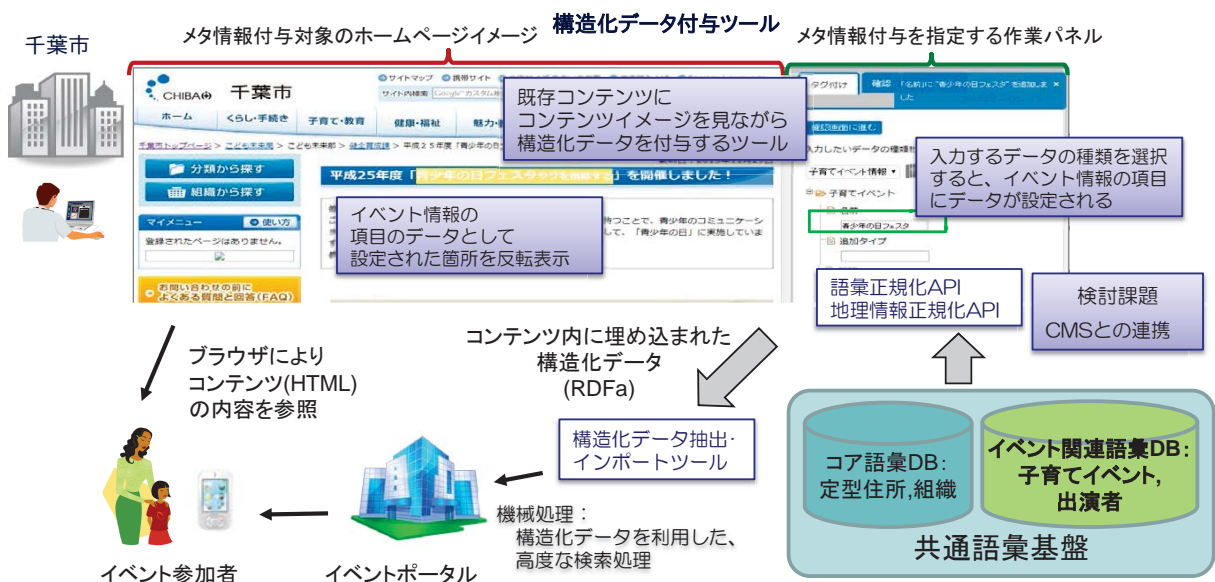
複雑かつ多様な助成支給条件の表現方法に課題
提案 条件項目を語彙に持たせるのではなく、支給の条件、内容、方法にIDを付与し、これらのIDを用いた条件式等により表現



5. 「イベント」のデータ化

千葉市総務局情報経営部業務改革推進課（インフォコム株式会社）

- 市が催す子育て関連各種イベントの情報を、オープンデータとして活用しやすい形式で提供するための方式を試行。「人が見てわかりやすい形式」と、「機械処理が容易な形式」を共存させるデータを生成する
- イベント関連語彙を開発。住所、出演者、イメージデータ等を検討
- 千葉市による試用を通じて得られたノウハウを元に「イベント」を記述するための基本語彙を整備し、構造化データを付与するためのツールやDBの要件について考察



姿を現し始めた「共通語彙基盤」

～オープンデータをはじめとする電子行政サービスの基盤構築へ～

日程：2014年6月6日(金) 13:00～17:00

場所：津田塾大学 津田ホール (JR中央本線 千駄ヶ谷駅前) 会議室T101,T102

時間(予定)	講演概要	ご講演予定者(敬称略)
13:00～13:05	開会挨拶	IPA 理事長 藤江一正
13:05～13:15	趣旨説明	IPA 技術本部国際標準推進センター長 田代秀一
13:15～13:35	キーノート	内閣官房政府CIO補佐官 平本健二
13:35～15:20	ツールプロジェクト デモンストレーション	
13:35～13:55	松江市のオープンデータの取り組み	松江市政策部政策課政策統計室長 花形泰道
13:55～14:05	観光情報データ化支援ツール	株式会社ネットワーク応用通信研究所 清水道雄、喜多川豪
14:05～14:20	松江OSSラボとビデオリンク	松江市産業観光部観光文化課 樋野智久 島根大学法文学部教授 野田哲夫
14:20～14:35	子育て支援施設のデータ化支援ツール	株式会社三菱総合研究所 清水友晴
14:35～14:50	道路のデータ化	インディゴ株式会社 高橋陽一
14:50～15:05	イベントのデータ化	株式会社インフォコム 加藤昌也
15:05～15:20	制度のデータ化	株式会社アスコエパートナーズ 安井秀行
15:20～15:30	休憩	
15:30～17:00	パネルディスカッション	内閣官房政府CIO補佐官 平本健二 松江市政策部政策課 政策統計室長 花形泰道 松阪市CIO補佐官 森本浩之 横浜市金沢区地域振興課地域力推進担当 石塚清香 IPA専門委員(国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系教授) 武田英明 IPA技術本部国際標準推進センター長 田代秀一